

平成 27(2015)年度 基礎研究報告

■テーマ

豊中市の財政構造に関する調査研究Ⅱ

■研究報告書 要旨

昨今、日本の人口減少と少子高齢化の問題、また公共施設等の老朽化の問題が議論されていますが、これらの問題が豊中市の財政にどの程度影響するかを考えるため、一定の前提を設定したシミュレーションを行いました。

シミュレーションの結果、今後40年間毎年、公共施設と土木インフラの大規模改修と更新に100億円以上の費用がかかり、また同程度の規模の公共施設を残した場合、それらのランニングコストも100億円以上かかるみこみとなりました。今後も豊中市の財政を持続可能なものにしていくには、公共施設も何らかの見直しが必要になります。

■研究報告書 目次



豊中市の財政構造に関する調査研究Ⅱ

とよなか都市創造研究所
研究報告書
2016.3

第1章 はじめに

第2章 昨年度の調査研究のまとめと

豊中市の財政と公共施設の状況

第3章 公共施設等の更新

第4章 公共施設のランニングコストの推計

第5章 今後に向けて

(熊本)